

船橋市内の公立小中学校の状況

学級の数	基準	小学校	中学校
38人	上限 38人 (小4~6 中2・3)	33学級	58学級
39人		5年生1学級	1年生 8学級(3校) 2年生 3学級(2校) 3年生 9学級(2校)
40人	上限 35人 (小1~3 中1)	6年生1学級	3年生 2学級(2校)
小1~小3で36人		3年生1学級	—
中1で36人以上		—	82学級(11校)

新型コロナウイルスによる3か月もの休業と、再開後の過密な日程は、子どもたちに大きな負担とストレスを与えています。

国民の声で少人数学級を子どもたちに贈ろう

一人ひとりの子どもに寄り添った教育が切実に求められています。そのためにも不可欠なのが少人数学級ですが、現実はいかような状況です。

小中学校の1学級当たりの基準は、国の制度は「40人学級」(小学1年生のみ35人学級)で、都道府県により地方独自の少人数学級(30~38人)が行われています。千葉県は少人数学級(弾力的運用)の基準は、小学校2・3年生35人、4・6年生38人、中学校は1年生35人、2・3年生38人ですが、市内には基準を超えている学級が少なくありません。(表参照)

新型コロナウイルス感染防止のためにあける身体的距離は2メートル、

国の補正予算は、これから活用へ 市長提案の補正予算は総額で約77億円に

国の補正予算がようやく全額活用できる見込みとなります。新型コロナウイルス感染症への対応で、人手不足や収入減が深刻な医療機関への支援や、中小事業者への家賃補助などは、よ

遅く、国民の深刻な実態に寄り添わない安倍政権の姿勢は、地方財政にも重大な影響を与えています。

日本共産党からは、「少人数学

令和2年(2020年)第3回 定例会 は8月28日より開会 会期:8月28日(金曜日)から 10月5日(月曜日)まで 39日間

月日(曜)	開議	会議別	主な議事等
8月28日(金)	10:00~	本会議	・開会 ・議案等提案説明 ・発議案提案説明 金沢和子議員、岩井友子議員
9月4日(金)	10:00~	本会議	・議案質疑 金沢和子議員
7日(月)	10:00~	本会議	・発議案質疑
8日(火)	10:00~	本会議	・一般質問 松崎さち議員④
9日(水)	10:00~	本会議	・一般質問 神子そよ子議員⑦
10日(木)	10:00~	本会議	・一般質問 坂井洋介議員⑦
11日(金)	10:00~	本会議	・一般質問
14日(月)	10:00~	本会議	・一般質問 岩井友子議員①
16日(水)	未定	総務委員会 予算決算分科会	松崎さち議員
17日(木)	未定	健康福祉委員会 予算決算分科会	神子そよ子議員
18日(金)	未定	市民環境経済委員会 予算決算分科会	坂井洋介議員
23日(水)	未定	建設委員会 予算決算分科会	金沢和子議員
24日(木)	未定	文教委員会 予算決算分科会	岩井友子議員
29日(火)	未定	予算決算委員会	総括質疑
30日(水)	未定	予算決算委員会	討論・採決
10月5日(月)	10:00~	本会議	・付託事件の審査報告と採決 ・閉会

日本共産党船橋市議団主催

無料法律相談

9月17日(木)
10月14日(水)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています


会場: 調整中
時間: 午後1時~4時
要予約: ☎436-3030

級の速やかな実施を求める意見書」と、「新型コロナウイルス感染症に関する医療体制の充実を千葉県に求める意見書」の、2つの発議案を提案しました。

今議会にも、行財政改革を口実にした市民負担増が提案されています。運動公園と法典公園の指定管理者制度の導入により、駐車場料金が新たに設定されます。議会には市民から「やめてほしい」という切実な声が多数寄せられています。

医療機関への支援や、教育環境の改善、市民負担増の中止など、引き続き、皆さんの声が市政に反映されるよう、力を尽くします。

安全と学びを保障するために



最低でも1メートルといわれていますが、国の基準も千葉県の基準も教室ではとても1メートルの距離を取ることが不可能です。

が狭くて、授業中に歩いて一人ひとりの子どもの様子を見て回ることができない(教師)こうした声が聞かれます。

今、子どもたちの安全と学びを保障するため少人数学級の実施が早急に求められます。

市内からは、「教室が密なので給食も、以前は机を向かい合わせ、おしゃべりしながら食べて、楽しい時間だったが、今は一斉に前を向いておしゃべりはしづらい。シーンとして食器の音だけが聞こえるなかで給食を食べている子どもたちが、本当にかわいそうです」(小学校の校長)

「自分の子どもが授業についていけない。一人ひとりの状況に応じた指導をして欲しいが、先生も大変そうで無理は言えない」(小学生の保護者)

「38人の学級では並べた机の間

7月には全国の知事会会長や市長会会長、町村会会長が「少人数編成を可能とする教員の確保」を文部科学大臣に要請、8月には全国小中高校長会が少人数学級を文部科学大臣に要請するなど、少人数学級を求める声が全国的に広がっています。

教育の専門家が呼びかけた少人数学級を求めるネット署名等も行われており、船橋市議会からも少人数学級を求める意見書が出せるよう、日本共産党市議団として提案しています。

国民の声で少人数学級を子どもたちに贈ろうではありませんか。